

人間学部 人間学科

履修モデル [2018年度 (平成30年度) 以前の入学生]

外資系企業や旅行・観光業、貿易・運輸業や製造・流通業、または国際機関や海外のNGO(非政府組織)などへの就職をめざす

導入科目の「国際関係論」、基幹科目の「ビジネスコミュニケーション」「プレゼンテーション」「異文化コミュニケーション」および展開科目の「文化表現論」を履修するとともに「海外研修」を履修することによって、国際感覚を高めながら、実社会で即戦力となり得る英語力・情報活用力を身に付け、外資系企業や旅行・観光業、貿易・運輸業や製造・流通業といった業種、または国際機関や海外のNGO(非政府組織)などへの就職をめざす人のための履修モデルです。

■ - 必修科目 ■ - 選択必修科目 ■ - 選択科目

| 区分     | 授業科目           |  |  |   |
|--------|----------------|--|--|---|
|        | 1年次            | 2年次  | 3年次  | 4年次   |
| 教養教育部門 | 人間と文化科目群       | 歴史と文化<br>文化人類学の世界  |  |   |
|        | 人間と社会科目群       | 法と社会<br>経済と社会<br>社会学                                     |  |   |
|        | 自然と環境科目群       | 人間とデザイン<br>生命の多様性  |  |   |
|        | 言語コミュニケーション科目群 | 英語基礎Ⅰ (必修)<br>英語基礎Ⅱ (必修)<br>英語初級Ⅰ-Ⅰ (必修)<br>英語初級Ⅰ-Ⅱ (必修) | 英語初級Ⅱ-Ⅰ (必修)<br>英語初級Ⅱ-Ⅱ (必修)<br>英語中級Ⅰ (必修)<br>英語中級Ⅱ (必修)   |   |
|        | 情報技術科目群        | コンピュータリテラシー<br>情報活用リテラシー<br>情報社会と倫理                      | 情報処理入門   |   |
|        | 教養演習科目群        | 教養演習   |  |   |
|        | 基礎科目群          | 心理学概論<br>人間学総論<br>社会学概論<br>国際コミュニケーション概論<br>環境人間学        |  |   |
| 専門教育部門 | 心理系            | 社会心理学<br>発達心理学   | 対人関係の心理学   |   |
|        | 教育・社会系         | 教育学概論<br>家族社会学<br>現代社会論                                  | 教育社会学<br>社会福祉論<br>環境社会学  | ジェンダー論<br>人口社会学<br>人材育成学  |
|        | 国際・コミュニケーション系  | 国際関係論<br>国際文化論<br>コミュニケーション論<br>言語文化論                    | 国際協力論<br>地域研究A<br>地域研究B<br>地域研究C<br>英米文学概論<br>異文化コミュニケーション<br>ビジネス・コミュニケーション<br>プレゼンテーション<br>インテンシブ・イングリッシュ<br>パラグラフ・ライティング<br>国際コミュニケーション | 国際組織論<br>比較文化論<br>多文化社会論<br>英米文学研究<br>文化表現論<br>比較言語論<br>エッセイ・ライティング |
|        | 体験科目           | フィールドワーク入門<br>語学研修<br>海外体験入門                             | フィールドワーク<br>海外研修   |   |
|        | 文献講読           |  | 文献講読A<br>文献講読B<br>文献講読C  |   |
| ゼミナール  | 基礎ゼミナール        |  | 基幹ゼミナール  | 卒業研究ゼミナール   |

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

**報道・放送・出版業界やグローバルな活躍が求められる業種などへの就職をめざす**

導入科目の「社会心理学」「コミュニケーション論」、基幹科目の「ジャーナリズム論」および展開科目の「現代メディア論」などを学習することによって、現代社会における情報・メディアにかかわる諸問題の理解を深めると同時に、国内外を問わず発揮することができるコミュニケーション能力を身に付け、報道・放送・出版業界などやグローバルな活躍が求められる業種などへの就職をめざす人のための履修モデルです。

■ - 必修科目   ■ - 選択必修科目   ■ - 選択科目

| 区分             | 授業科目           |  |  |   |
|----------------|----------------|--|--|---|
|                | 1年次            | 2年次  | 3年次  | 4年次                                     |
| 教養<br>教育<br>部門 | 人間と文化科目群       | 文学と人間<br>文化人類学の世界<br>哲学  |  |   |
|                | 人間と社会科目群       | ジェンダーと社会   |  |   |
|                | 自然と環境科目群       | 物質の成り立ち<br>数と論理  |  |   |
|                | 言語コミュニケーション科目群 | 英語基礎Ⅰ（コミュニケーション）<br><br>英語基礎Ⅱ（コミュニケーション）<br><br>英語初級Ⅰ-Ⅰ（コミュニケーション）<br><br>英語初級Ⅰ-Ⅱ（コミュニケーション） | 英語初級Ⅱ-Ⅰ（コミュニケーション）<br><br>英語初級Ⅱ-Ⅱ（コミュニケーション）<br><br>英語中級Ⅰ（コミュニケーション）<br><br>英語中級Ⅱ（コミュニケーション）                   |   |
|                | 情報技術科目群        | コンピュータリテラシー<br>情報活用リテラシー<br>情報社会と倫理  | 情報処理入門   |   |
|                | 教養演習科目群        | 教養演習   |  |   |
|                | 基礎科目群          | 心理学概論<br>人間学総論<br>社会学概論<br>国際コミュニケーション概論   | データ解析入門  |   |
| 専門<br>教育<br>部門 | 心理系            | 社会心理学<br>発達心理学<br>教育心理学  | 対人関係の心理学<br>認知心理学<br>心理データ解析   | 産業心理学                                   |
|                | 社会・教育系         | 教育学概論<br>家族社会学<br>現代社会論<br>地域文化論   | 学校教育論<br>環境社会学<br>日本文化史<br>ジャーナリズム論<br>政治学   | 教育史<br>日本社会史<br>現代メディア論                 |
|                | 国際・コミュニケーション系  | 国際関係論<br>コミュニケーション論<br>言語文化論   | 地域研究A<br>地域研究B<br>異文化コミュニケーション<br>ビジネス・コミュニケーション<br>プレゼンテーション<br>インテンシブ・イングリッシュ<br>パラグラフ・ライティング<br>国際コミュニケーション | 比較文化論<br>多文化社会論<br>文化表現論<br>エッセイ・ライティング |
|                | 体験科目           | フィールドワーク入門<br>ボランティア入門   | フィールドワーク<br>海外研修<br>インターンシップ   |   |
|                | 文献講読           |  | 文献講読A<br>文献講読B<br>文献講読C  |   |
|                | ゼミナール          | 基礎ゼミナール  |  | 基幹ゼミナール                                 |

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

**福祉サービスを提供する企業のマネジメント担当者、一般企業の人事・メンタルヘルス担当者などへの職業をめざす**

導入科目の「性格心理学」「家族社会学」、基幹科目の「学習心理学」「福祉心理学」「臨床心理学」「生涯発達心理学」および展開科目の「臨床社会心理学」「産業心理学」などを学習することによって、人間の心にかかわる分野で専門性の高い知識を身に付け、福祉サービスを提供する企業のマネジメント担当者、一般企業の人事・メンタルヘルス担当者などへの職業をめざす人のための履修モデルです。また、「心理データ解析」「心理検査法」「心理学演習Ⅰ」「心理学演習Ⅱ」を履修し、実践力を少しでも身に付けておくのも必要です。

■ - 必修科目   ■ - 選択必修科目   ■ - 選択科目

| 区分             |                | 授業科目   |  |   |           |
|----------------|----------------|--|--|---|-----------|
|                |                | 1年次  | 2年次  | 3年次   | 4年次       |
| 教養<br>教育<br>部門 | 人間と文化科目群       | 歴史と文化<br>宗教の世界   |  |   |           |
|                | 人間と社会科目群       | 政治と社会<br>ジェンダーと社会  |  |   |           |
|                | 自然と環境科目群       | 地球と宇宙<br>生命の多様性<br>数と論理  |  |   |           |
|                | 言語コミュニケーション科目群 | 英語基礎Ⅰ（コミュニケーション）<br>英語基礎Ⅱ（コミュニケーション）<br>英語初級Ⅰ-Ⅰ（コミュニケーション）<br>英語初級Ⅰ-Ⅱ（コミュニケーション） | 英語初級Ⅱ-Ⅰ（コミュニケーション）<br>英語初級Ⅱ-Ⅱ（コミュニケーション）<br>英語中級Ⅰ（コミュニケーション）<br>英語中級Ⅱ（コミュニケーション）                         |   |           |
|                | 情報技術科目群        | コンピュータリテラシー<br>情報活用リテラシー<br>情報社会と倫理  | 情報処理入門   |   |           |
|                | 教養演習科目群        | 教養演習   |  |   |           |
|                | 基礎科目群          | 心理学概論<br>人間学総論<br>社会学概論<br>生命倫理入門<br>国際コミュニケーション概論                               | データ解析入門  |   |           |
| 専門<br>教育<br>部門 | 心理系            | 社会心理学<br>性格心理学<br>発達心理学<br>教育心理学<br>生徒・進路指導論                                     | 対人関係の心理学<br>家族心理学<br>生涯発達心理学<br>臨床心理学<br>福祉心理学<br>認知心理学<br>学習心理学<br>心理学演習Ⅰ<br>心理学研究法<br>心理データ解析<br>心理検査法 | 産業心理学<br>臨床社会心理学<br>アイデンティティの心理学<br>発達臨床心理学<br>カウンセリング論<br>学校教育相談<br>心理学演習Ⅱ |           |
|                | 教育・社会系         | 教育学概論<br>家族社会学<br>現代社会論  | 学校教育論<br>学習社会論   | 教育史<br>人材育成学  |           |
|                | 国際・コミュニケーション系  | 国際関係論<br>コミュニケーション論  | 国際協力論<br>異文化コミュニケーション  |   |           |
|                | 体験科目           | ボランティア入門   | 海外研修<br>ボランティア<br>インターンシップ   |   |           |
|                | 文献講読           |  | 文献講読A<br>文献講読B<br>文献講読C  |   |           |
|                | ゼミナール          | 基礎ゼミナール  |  | 基幹ゼミナール   | 卒業研究ゼミナール |

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

地方自治体での生涯学習・社会教育といった内容を取り扱う担当者、または民間の教育機関やオルタナティブ・スクールの運営スタッフなどの職業をめざす

導入科目の「地域文化論」、基幹科目の「学習社会論」「生涯発達心理学」「学校教育論」および展開科目の「発達臨床心理学」「地域教育論」「教育史」などを学習することによって、人間を取り巻く地域環境、教育環境についての知識を身に付け、地方自治体での生涯学習・社会教育といった内容を取り扱う担当者、または民間の教育機関やオルタナティブ・スクールの運営スタッフなどへの職業をめざす人のための履修モデルです。

■ - 必修科目 ■ - 選択必修科目 ■ - 選択科目

| 区分                         |                   | 授業科目   |  |   |               |
|----------------------------|-------------------|--|--|---|---------------|
|                            |                   | 1年次  | 2年次  | 3年次                                     | 4年次           |
| 教養<br>教育<br>部門             | 人間と文化科目群          | 文学と人間<br>芸術文化論<br>文化人類学の世界   |  |   |               |
|                            | 人間と社会科目群          | 経済と社会<br>政治と社会<br>都市と人間  |  |   |               |
|                            | 自然と環境科目群          | 物質の成り立ち<br>生命の多様性  |  |   |               |
|                            | 言語コミュニケーション科目群    | 英語基礎Ⅰ（コ<br>ミュニケーショ<br>ン）<br>英語基礎Ⅱ（コ<br>ミュニケーショ<br>ン）<br>英語初級Ⅰ-Ⅰ（コ<br>ミュニケーショ<br>ン）<br>英語初級Ⅰ-Ⅱ（コ<br>ミュニケーショ<br>ン） | 英語初級Ⅱ-Ⅰ（コ<br>ミュニケーショ<br>ン）<br>英語初級Ⅱ-Ⅱ（コ<br>ミュニケーショ<br>ン）<br>英語中級Ⅰ（コ<br>ミュニケーショ<br>ン）<br>英語中級Ⅱ（コ<br>ミュニケーショ<br>ン） |   |               |
|                            | 情報技術科目群           | コンピュータリテ<br>ラシー<br>情報社会と倫理   |  |   |               |
|                            | 教養演習科目群           | 教養演習   |  |   |               |
|                            | 基礎科目群             | 心理学概論<br>人間学総論<br>社会学概論<br>国際コミュニケー<br>ション概論   | データ解析入門  |   |               |
| 専<br>門<br>教<br>育<br>部<br>門 | 心理系               | 社会心理学<br>性格心理学<br>発達心理学<br>教育心理学<br>生徒・進路指導論   | 対人関係の心理学<br>家族心理学<br>生涯発達心理学<br>福祉心理学<br>心理データ解析   | 臨床社会心理学<br>発達臨床心理学<br>学校教育相談            |               |
|                            | 社会・教育系            | 教育学概論<br>家族社会学<br>現代社会論<br>地域文化論   | 学校教育論<br>道徳教育論<br>教育行政論<br>学習社会論<br>教育社会学<br>社会福祉論<br>環境社会学<br>西洋社会史<br>日本文化史<br>政治学                             | 教育史<br>地域教育論<br>都市文明史<br>日本社会史<br>人材育成学 |               |
|                            | 国際・コミュニ<br>ケーション系 | 国際関係論<br>コミュニケーション<br>論  | 国際協力論<br>プレゼンテーショ<br>ン   | 比較言語論                                   |               |
|                            | 体験科目              | フィールドワーク<br>入門<br>ボランティア入門<br>海外体験入門   | 海外研修   |   |               |
|                            | 文献講読              |  | 文献講読A<br>文献講読B<br>文献講読C  |   |               |
|                            | ゼミナール             | 基礎ゼミナール  |  | 基幹ゼミナール                                 | 卒業研究ゼミナ<br>ール |

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要  
です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認  
のうえ、履修をしてください。

## 大学院進学など高度職業人として専門性の高い知識・技能の習得をめざす

各分野のコアとなる科目、すなわち「社会心理学」「家族心理学」、「教育史」「学校教育論」、「地域文化論」、「国際コミュニケーション」「比較文化論」などを学習することによって、学部教育の中で「人間学」の専門的基礎を幅広く身に付け、本大学の既設大学院や他大学大学院の修士課程への進学を視野に入れ、より一層の「人間学」の探求、または高度職業人として専門性の高い知識・技能の習得をめざす人のための履修モデルです。

■ - 必修科目 ■ - 選択必修科目 ■ - 選択科目

| 区分             |                | 授業科目   |  |  |           |
|----------------|----------------|--|--|--|-----------|
|                |                | 1年次  | 2年次  | 3年次  | 4年次       |
| 教養<br>教育<br>部門 | 人間と文化科目群       | 文学と人間<br>欧米文化論<br>宗教の世界  |  |  |           |
|                | 人間と社会科目群       | 法と社会<br>ジェンダーと社会   |  |  |           |
|                | 自然と環境科目群       | 物質の成り立ち<br>数と論理  |  |  |           |
|                | 言語コミュニケーション科目群 | 英語基礎Ⅰ（コ<br>ミュニケーショ<br>ン）<br>英語基礎Ⅱ（コ<br>ミュニケーショ<br>ン）<br>英語初級Ⅰ-Ⅰ（コ<br>ミュニケーショ<br>ン）<br>英語初級Ⅰ-Ⅱ（コ<br>ミュニケーショ<br>ン） | 英語初級Ⅱ-Ⅰ（コ<br>ミュニケーショ<br>ン）<br>英語初級Ⅱ-Ⅱ（コ<br>ミュニケーショ<br>ン）<br>英語中級Ⅰ（コ<br>ミュニケーショ<br>ン）<br>英語中級Ⅱ（コ<br>ミュニケーショ<br>ン） |  |           |
|                | 情報技術科目群        | コンピュータリテ<br>ラシー<br>情報活用リテラ<br>シー<br>情報社会と倫理  |  |  |           |
|                | 教養演習科目群        | 教養演習   |  |  |           |
|                | 基礎科目群          | 心理学概論<br>人間学総論<br>社会学概論<br>生命倫理入門<br>国際コミュニケーション概論   | データ解析入門  |  |           |
| 専門<br>教育<br>部門 | 心理系            | 社会心理学<br>性格心理学<br>発達心理学<br>教育心理学<br>生徒・進路指導論   | 対人関係の心理学<br>家族心理学<br>生涯発達心理学<br>臨床心理学<br>認知心理学<br>学習心理学<br>心理学演習Ⅰ<br>心理検査法                                       | 産業心理学<br>アイデンティティの心理学<br>発達臨床心理学<br>心理学演習Ⅱ |           |
|                | 社会・教育系         | 教育学概論<br>家族社会学<br>地域文化論  | 学校教育論<br>教育行政論<br>学習社会論<br>教育社会学<br>西洋文化史  | 教育史<br>地域教育論<br>都市文明史<br>人材育成学             |           |
|                | 国際・コミュニケーション系  | 国際関係論<br>コミュニケーション論  | 国際協力論<br>異文化コミュニ<br>ケーション<br>ビジネス・コミュ<br>ニケーション<br>国際コミュニケー<br>ション   | 比較文化論<br>文化表現論<br>比較言語論                    |           |
|                | 体験科目           | フィールドワーク<br>入門   | 海外研修   |  |           |
|                | 文献講読           |  | 文献講読A<br>文献講読B<br>文献講読C  |  |           |
|                | ゼミナール          | 基礎ゼミナール  |  | 基幹ゼミナール                                    | 卒業研究ゼミナール |

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。